

安全・景観・環境を提案する"群交協"

第71号

群交協だより

URL:<http://www.k5.dion.ne.jp/~gunkouky/>

平成29年1月10日 発行

発行
群馬県交通安全施設業協同組合
前橋市大手町1-2-6 ☎027-223-3343

発行責任者 峯崎 寛
編集発行人 宇都木 正之

群馬県交通安全施設業協同組合

理事長 峯崎 寛



あけましておめでとうございます。
新しい年が群馬県交通安全施設業協同組合の組合員にとって、素晴らしい年になりますことを心よりお祈り申し上げます。
昨年は色々な出来事が国内外で毎日のように起き、目まぐるしい一年でした。特に年末に行われたアメリカ合衆国の大統領選では、予想を覆しドナルド・トランプ氏が当選したことで世界中が驚き対応に追われました。まさしく時代が大きく変わろうとしている一つの現象であると思います。何が起きていても不思議ではない時代に突入したと言えるでしょう。
昨年の組合活動は組合員の協力で順調に進み、社会貢献事業は、高崎、藤岡、伊勢崎土木事務所管内の標識とカーブミラー等の清掃活動を、また交通弱者対策として前橋駅南口ロータリーの点字ブロックと区画線の塗り替えをさせていただきました。県との防災協定に基づく発動もなく、災害の少ない群馬県を感じております。
今年度も三ヶ月を残すところとなりました。年度末の繁忙

群馬県知事 大澤正明



新年明けましておめでとうございます。
群馬県交通安全施設業協同組合の皆さまには、すがすがしい新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。
昨年は、NHK大河ドラマ「真田丸」が「昨年の「花燃ゆ」に引き続き放送され、本県の魅力を県内外に発信することができました。
スポーツの分野では、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックという世界の大舞台において、本県から出場した多くの選手が素晴らしい活躍をしました。
さて、今年も、県政の新たな羅針盤である「第十五次総合計画」がスタートして二年目を迎えます。人口減少が喫緊の課題として叫ばれる中「人・モノ・情報を呼び込む」という新たな発想で、群馬の未来を創生していかなければなりません。
そのために、総合計画の主要施策である、西毛広域幹線道路や上信自動車道などの「七つの交通軸」の整備・強化や、

期を迎えます。安全対策もしつかり行い、組合員各社が無災害で終わることを心から願っております。
そして今年度は、新しいアメリカの本格的発進、東京オリピック、パラリンピックに向けても一気に進んでいくでしょう。そして業界的には自動運転システム化で交通安全施設の変化など、大きく変わる時代の真ただ中に突入していくと考えられます。新しい技術やシステムは何なのか。何が残り、何が必要なのか。国土交通省、県、全標協等のご指導を仰ぎながら模索していくことになるでしょう。
平成二十九年が組合員、社員、その家族等が安らかに過ごせる年になることが一番の願いです。そして、我が郷土群馬の県民の皆様のために、安全で安心な地域作りに参加できることの喜びを噛みしめながら、今年一年しっかりと取り組んでまいりたいと思います。
今年も宜しくお願ひ申し上げます。抱負と挨拶とさせていただきます。

「人・モノ・情報」を呼び込む拠点となるコンベンション施設の整備などにより、企業誘致や観光誘客を更に推進し、県内経済の活性化に努めます。
また、災害に強い県土づくりとして、「防災・減災対策」を重点的に推進し、近年、頻発・激甚化する自然災害から、県民の命と暮らしを守るとともに、「安全安心な群馬県」への民間投資の拡大や移住定住の促進を図ります。
県政の主役である県民の皆さまが安心して幸せを実感でき、将来にわたって住み続けたいような「魅力あふれる群馬」の実現に向け、「はばたけ群馬・県土整備プラン」に基づく社会資本整備を、着実に推進して参ります。
結びに、この一年が貴組合の皆さまにとって健康で幸多い年になりますとともに、安全な交通環境の創出のため、より一層の御支援を賜りますよう心から祈念申し上げます。
平成二十九年一月一日

第25回 交通安全施設研究会

平成二十八年十月十九日(水)前橋市内の群馬県公社総合ビルの大ホールにて、関係官庁の皆様をお迎えし、組合員及び賛助会員参加のもと「第二十五回交通安全施設研究会」を開催いたしました。

初めに、(株)ジオファイブの技術営業部の薊氏より「標識柱・信号柱の地中部腐食の非破壊検査」について概要説明していただいた後、当組合で前橋・高崎土木事務所管内のF型標識柱六基について調査を行った結果を発表いたしました。

続いて、スリーエムジャパン(株)トラフィック セーフティ・セキュリティ技術部の村本氏から「道路案内標識の夜間輝度測定結果について」と題し、県管理道路一〇箇所案内標識や規制標識の実測結果等を発表いたしました。

休憩の後、各社の安全活動の取り組みの一環として、(株)日装の柴田氏を始めとする社員の方々から、「毎日の朝礼」の実演がありました。

最後に、アトミクス(株)道路事業情報システム課の織田氏より「自動運転の実現に向けた取り組み」について、現状や達成の可能性について講演をいただきました。

またエントランスホールでは、県民の皆さんがより安全で安心して過ごせる街になるように、安全な交通環境づくりに役立つ様々な製品を、賛助会員等である(株)吾妻商会、アトミクス(株)、信号器材(株)、スリーエムジャパン(株)、積水樹脂(株)、ヨシモトポール(株)、神商鉄鋼販売(株)の各社が展示・紹介いたしました。

当組合はこれからも専門工事業者として安全・安心の道路環境整備の実現を目指し、技術の向上・習得に二九となつて努めてまいります。



交通弱者安全対策事業の取組について

平成二十八年十月三十一日(月)、組合の社会貢献事業の一環として、前橋駅南口ロータリー周辺で、点字ブロックの再塗装や道路区画線の引き直し作業を行いました。

県立盲学校が付近にあることや、駅周辺で歩行者や交通量が多いため、今回は当箇所での活動となりました。

具体的には、色が薄くなっている点字ブロック一、三三三枚を再塗装したほか、ロータリー内の区画線一、九二五mの引き直しや規制標識二基の更新を行いました。

これにより、点字ブロックも鮮やかさを取り戻し弱視の方の視認性も高まったと思います。また区画線を一新したことにより車道と歩道も明確になりました。

当組合では社会貢献事業として、通学路の安全対策や防犯対策を念頭とした「子どもを守るうプロジェクト」や、県内の「道路標識、道路反射鏡の清掃活動」も行っております。

今後も専門工事業者として、安全・安心な交通環境作りに尽力してまいります。



第25回 つり大会

恒例となりました群馬県交通安全施設業協同組合青年部会主催の釣り大会を、平成二十八年九月四日(日)に前橋市柏倉町にある大崎釣り堀にて開催しました。

毎年のように心配される天候は曇りでしたが、ちよど良い行楽日和となりました。

組合員・賛助会員とその家族の皆さん(総勢五百二十二名)の友好と親睦を深めることが目的の釣り大会も今年で二十五回を迎え、参加者の歓声や子供達の笑顔が溢れる楽しい一時を過ごす事が出来ました。

最後に池の水を抜いて、子供達による魚の掴み取りを行い大盛況のうちに閉会しました。

この日、参加者の皆様から頂いた募金は、佐藤交通遺児福祉基金へ寄付させていただきました。

■組合員

(株)三積商事・(株)日装・(株)信交・(株)中井産業・群馬ライン企画(株)・富友産業(株)・(株)コムテックス・(株)サンテック・共進安全(株)・(有)高崎保安機材・三菱産業(株)・サン(株)・昭和サイン(株)・新日東(株)・ダイケンテクノ(株)・中央ライン(株)・(株)日栄ライン工業・(株)ヒロタ・富士技工(株)・マーキングウェイ(株)・(株)三山・(株)友邦

■賛助会員

(株)吾妻商会交通用品部・アトミクス(株)・岩澤建設(株)群馬支店・岳南光機(株)・信号器材(株)群馬営業所・新道路企画(有)桐生支店・スリーエムジャパン(株)トラフィック セーフティ・セキュリティ事業部・関東積水樹脂(株)・燕振興工業(株)・日鉄住金防蝕(株)北関東営業所・野原産業(株)都市環境事業部・扶桑工業(株)群馬営業所・ヨシモトポール(株)関東支店

